

1 軍事地図を 寄贈いただきました

8/5

土浦市在住の飯村忠義^{いいむらただよし}さんから、戦争時に使われていた軍事地図の複製を市に寄贈いただきました。この地図は、終戦の約2年前(1943年)に現在のキリバスで、アメリカと日本が戦争をしていた際に、アメリカが作成したと思われるものです。

飯村さんは「小さな島で亡くなっている方もいることを知ってほしい。少しでも戦争と平和を考えてもらえれば」と平和への願いと思いを話してくれました。地図は、筑波海軍航空隊記念館で展示されています。



左から、飯村さん、山口市長

3 笠間栗ファクトリー 加工施設起工式

8/26

笠間市・JR東日本・JA常陸が共同出資した「笠間栗ファクトリー株式会社」の栗加工施設起工式が行われました。

建設予定地は、道の駅かさまの向かい側で、来年9月から本格稼働予定です。秋には「道の駅かさま」の栗ショップや市内菓子店舗などに、施設で加工された栗ペーストを使った商品が並ぶよう準備を進めています。



起工式に参列した関係者の皆さん



2 笠間のまつり 30年の歴史に幕

8/22

今年で最後の開催となった笠間のまつりが終了し、30年の歴史に幕を閉じました。

実行委員会の皆さん、そして、これまで笠間のまつりに関わってくださった皆さん、本当にありがとうございました。

実行委員会の皆さんにご協力をいただき、今回の展示の様子と過去の映像をまとめた動画を作成しましたので、ぜひご覧ください。



笠間のまつり実行委員会の皆さん



動画
「笠間のまつりFINAL」

5 笠間PAスマートIC 連結許可書伝達式

9/3

北関東自動車道笠間西IC～友部IC間の笠間PAに、ETC搭載車専用のスマートインターチェンジの連結が許可され、「(仮称)笠間PAスマートインターチェンジ連結許可書伝達式」で国土交通省 常陸河川国道事務所の日下部所長から市へ、許可書が手渡されました。

スマートインターチェンジが整備されることにより、市内観光の活性化や高度医療施設へのアクセス向上、渋滞の緩和などが期待されます。



左から、山口市長、常陸河川国道事務所 日下部所長

4 交通死亡事故連続ゼロで 表彰されました

8/31

笠間市が交通死亡事故連続ゼロ350日を達成し、茨城県交通対策協議会より表彰されました。これも交通ボランティアの方々と、市民の皆さんのご協力のおかげです。市としても、今まで以上に交通安全対策に尽力してまいります。

秋は日が短くなり、夕暮れ時に交通事故が発生しやすくなります。歩行者の皆さんは反射材の着用、運転者の皆さんは早めのライト点灯をお願いします。



市民活動課 防犯交通グループの職員



左から、水戸下市郵便局 小松局長、山口市長

6 かさましこ日本遺産認定記念切手 贈呈式

9/15

「かさましこ～兄弟産地が紡ぐ“焼き物語”～」の日本遺産認定を記念し、日本郵便株式会社から、オリジナルフレーム切手が発行されました。

9月15日(水)には贈呈式が行われ、水戸下市郵便局の小松局長から山口市長に切手が贈呈されました。切手は、茨城県中央地区と栃木県の一部の郵便局で販売されています。

また、郵便車両には日本遺産認定マグネットシートを貼り付け、日本遺産のPRにご協力いただいています。

7 戦後76年目を迎え

8/7

先の大戦における本市関係の戦没者の御霊に対し、追悼の意を表するとともに、市を挙げて恒久平和を祈念する戦没者追悼式を挙りました。

昨年に続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者を御遺族等に限定しての開催となりました。

式典では戦没された方々へ黙祷を捧げ、それぞれの思いを込めて、参加者全員が献花を行いました。



追悼の辞を述べる市遺族連合会 海藤会長